

SIDS in HPV programme & CCAP
SIAM 1, 24/02/1993

初期評価プロファイル (SIAP)

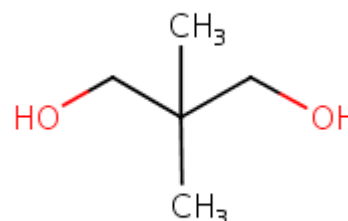
2,2-ジメチル-1,3-プロパンジオール

物質名 : 1,3-Propanediol, 2,2-dimethyl : Neopentyl glycol

化学式 : C₅H₁₂O₂

CAS No. : 126-30-7

O/W 分配係数 log P_{ow} = 0.12 (25°C)



総合評価

SIDS 初期評価

本物質は現在のところ今後の調査の優先度は低い。

勧告の根拠の要約

2,2-ジメチル-1,3-プロパンジオールは安定な固体であり、生産量は 1991 年の日本で 12,000 トンであった。本物質は中性、酸性、アルカリ性溶液中で安定であり、SIDS 試験として実施された生分解性試験の結果により「容易に生分解されない」と分類されている。本物質は魚類、ミジンコ、藻類に対して毒性を持たない。本物質は遺伝毒性作用⁺を示さず、反復投与毒性の NOAEL は 100mg/kg/日⁺⁺、生殖毒性の NOAEL は 1000mg/kg/日⁺⁺⁺であった。反復投与毒性と生殖毒性の EDCLはそれぞれ 0.1mg/kg/日と 10.0mg/kg/日と計算された。本物質の 1 日摂取量は、MNSEM 145J ばく露モデルを使用して 1.11E mg/日と推定された。結論すると、2,2-ジメチル-1,3-プロパンジオールは難分解性であり、毒性試験で中等度の毒性を示したが、ばく露レベルを考慮すると、今後の試験は現在のところ必要ない。

しかしながら、より現実的な分析を考えるために、ばく露について国際的な情報が必要である。

JETOC 注 ⁺: CHL 細胞による変異原性試験 ⁺⁺: ラット、経口ばく露 ⁺⁺⁺: ラット、経口ばく露

[著作権および免責事項について]

[著作権]

本資料の著作権は弊センターに帰属します。引用、転載、要約、複写 (電子媒体への複写を含む) は著作権の侵害となりますので御注意下さい。

[免責事項]

本資料に掲載されている情報については、万全を期しておりますが、利用者が本情報を用いて行う一切の行為について、弊センターは何ら責任を負うものではありません。また、いかなる場合でも弊センターは、利用者が本情報を利用して被った被害、損失について、何ら責任を負いません。